

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			クールダウンや個別に対応できるスペースもあり、適切なスペースを確保している。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			教員の資格を有する者を多く配置。又、臨床心理士なども常勤で配置している。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			段差なく、また動きやすい配慮をしている。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			アンケートの回答は、職員会議で討議し職員間で共有している。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			JDDネットワークで行っている評価を受け、業務改善につなげている。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			現場の声を研修内容に反映し、職員のスキルアップに努めている。
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			WISC-IV、KABC-II など主流となるアセスメントツールを実施している。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			子どもたちの特性や反応、変化に応じたプログラムを実施している。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			平日、継続して積み上げていく課題や休日や長期休暇には体験的なプログラムを実施し個に応じた課題を設定している。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			個別活動と集団活動を効果的に組み合わせ、子どもの状態に合わせて計画を作成している。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			プログラムの終了後に振り返りの場を設け、次回への課題等を確認している。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			振り返りで話した内容をふまえて記録に残し、今後に生かしている。

	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			保護者と面談を行い、課題を確認し、計画の見直しの必要性を判断している。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○			創作活動や余暇活動を取り入れながら支援を行っている。
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			児童発達管理責任者と指導スタッフが参画するよう調整している。
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか		○		利用者の保護者を通じて行っている。学校とのスムーズなやりとりは、今後の目標である。
	㉒	医療的ケアが必要な子供を受入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○			
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			成育歴や園などでの困り感、トラブルなどを詳細に把握するため情報共有や相互理解に努めている。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○		移行したケースはまだないが、必要な情報は提供していく。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			ケース会議などで、スーパーバイザーとして大学教授等の専門家の方に助言を受けている。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○		個別の課題が大きく、外部との交流は難しい点はあるが、今後の課題としたい。
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか			○	新宿区の状況について、今後情報の把握をしていく。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			保護者会の機会にペアレントトレーニングの要素を入れて、支援を行っている。
保護者への説明責任等	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			定期的な面談以外でも、電話等による相談を随時受けている。
	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			

	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			職員会議の内容など話し合ったことを経過報告しながら、迅速な対応を図っている。
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	○			書類は鍵付きのキャビネットに保管し、データの持ち出しも禁止している。
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			明瞭な伝え方をするように努め、メモや連絡ノート、電話等を用い伝達もれがないようにしている。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			入会時や保護者会時に説明し、周知を図っている。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			利用者のパニックなども想定しながら、今後も実施していく。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			日頃使っている言い回しなどが虐待にあたらぬいか、チェック機能を強化していく。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			アレルギーについては、書面で報告してもらい、必要な対応を行っている。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか		○		